

堺市指定管理者評価表

(評価対象期間 : 令和3年4月1日 から 令和4年3月31日 まで)

1 基本情報

(1) 公の施設の名称	
堺市立桐文化会館	
(2) 施設の設置目的	
市民文化の創造及び振興に寄与するため	
(3) 所管部局	
文化観光局 文化部 文化課	
(4) 指定管理者名	
公益財団法人堺市文化振興財団	
(5) 指定期間	
令和2年4月1日から令和7年3月31日まで(5年間)	
(6) 主な事業	
<ul style="list-style-type: none">・ 貸館業務をはじめとする施設の管理運営に関すること・ ホールなどを活用した文化芸術振興事業を行うこと・ 施設設備の維持及び修繕等、保守管理に関すること・ 消防訓練や避難経路の確保を行い緊急時の対応に備えること・ 市から貸与を受けた備品を適切に管理すること・ 利用者の意見を管理運営に反映させるため、アンケート等による意見聴取を行うこと	
(7) 施設分類	(8) 有料施設の有無
文化・教育施設	有 (利用料金制)
(9) 選定方法(公募・非公募の別)	
公募	
(10) 主な利用者	(11) 市内における受益対象者数
市民	不特定多数
(12) 近隣の類似施設	
和泉シティプラザ	

2 管理運営状況

(1) 適正な管理運営の確保

ア 取組状況

平等利用、安全確保、個人情報の保護等	・危機管理マニュアルを整備するとともに、880万人訓練への参画など安全確保に向けた取組を行った。また、消防局の職員を講師に招き、救急救命講習を行った。 ・情報セキュリティ研修を行うなど個人情報の保護に対する職員の意識付けを行った。
職員配置、人材育成、施設の維持管理等	・人権研修や接遇研修をはじめ多様な研修を実施した。 ・年度事業計画書に基づき保守点検を行うとともに、適宜不具合箇所の修繕を行うなど適切に維持管理を行った。
施設の設置目的に沿った事業の実施	・新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものの、仕様書におけるホール活用事業や生涯学習施設活用事業の目標は達成できた。
その他特筆すべき取組	・消毒や検温、利用者間の距離の確保など、新型コロナウイルス感染対策を講じ、安全に施設を利用していただけるよう努めた。

イ 市による状況分析

- ・利用者のニーズや地域の特色を踏まえ、各サークル活動の舞台発表会を企画する等、地域住民の文化交流の場としての役割を担っている。
- ・施設の老朽化によって生じた故障等について、迅速に修繕をしている。

(2) 利用者サービスの向上

ア 利用状況

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
指定管理者名	公益財団法人 堺市文化振興財団	公益財団法人 堺市文化振興財団	公益財団法人 堺市文化振興財団	公益財団法人 堺市文化振興財団	公益財団法人 堺市文化振興財団
利用者数(単位:人)	177,946	146,162	76,090	107,823	—
稼働率(単位:%)	79.7	75.5	63.3	69.4	—
利用者満足度(単位:%)	85.0	82.5	92.1	95.1	—

イ 取組状況

サービス向上、利用促進	・休館日以外は、中高生を対象に自習室を無料開放することで、施設の周知を図り、若者世代の利用促進に努めた。
意見・苦情・要望等への対応	・利用者からの意見や苦情等はなかった。 ・駐車料金が高額であるという意見を受けて、夜間の利用者が敷地内の無料スペースに1団体1台駐車できるよう調整した。
その他特筆すべき取組	・新型コロナウイルス感染対策を講じながら梅文寄席(落語)やこどもミュージカルなど様々な世代を対象とした事業を実施した。

ウ 市による状況分析

- ・令和2年度に続き令和3年度も新型コロナウイルス感染症の影響を受けたが、利用者数及び稼働率がやや回復した。
- ・施設が古く老朽化しているものの、利用者寄り添った対応等により、高い満足度が得られた。

2 管理運営状況

(3) 収支

ア 収支状況

(単位:円)

■ 指定管理業務

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 (予算)
指定管理者名		公益財団法人 堺市文化振興 財団	公益財団法人 堺市文化振興 財団	公益財団法人 堺市文化振興 財団	公益財団法人 堺市文化振興 財団	公益財団法人 堺市文化振興 財団
収入	指定管理料	90,820,000	91,634,000	102,497,084	103,528,199	98,980,000
	利用料金	24,721,086	16,895,898	10,095,115	16,733,642	19,000,000
	負担金	0	0	0	0	0
	その他	12,670,079	11,224,674	6,293,550	6,371,629	9,610,000
合 計		128,211,165	119,754,572	118,885,749	126,633,470	127,590,000
支出	人件費	41,390,754	40,044,482	35,360,727	36,267,570	37,349,000
	委託料	54,584,463	52,161,426	44,084,326	46,644,764	49,505,000
	総支出額に占める 委託料の割合	40.0%	40.6%	39.7%	37.9%	38.8%
	修繕費	1,769,526	1,174,137	2,264,108	3,101,362	3,520,000
	光熱水費	28,429,336	25,936,560	22,127,234	28,107,388	25,977,000
	その他	10,376,010	9,120,930	7,191,304	9,095,238	11,239,000
合 計		136,550,089	128,437,535	111,027,699	123,216,322	127,590,000
収支差額		-8,338,924	-8,682,963	7,858,050	3,417,148	0
(市への納付金の額)		—	—	—	—	—
(徴収委託の場合の徴収額)		—	—	—	—	—

■ 自主事業 (有)

(単位:円)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 (予算)
収入	4,505,242	4,693,407	2,056,534	2,603,666	4,459,000
支出	4,259,041	4,274,273	2,550,533	2,898,238	4,060,000
収支差額	246,201	419,134	-493,999	-294,572	399,000
(市への納付金の額)	—	—	—	—	—

イ 取組状況

経費の縮減、経理事務	<ul style="list-style-type: none"> ・天井等改修工事によるホールの閉鎖や新型コロナウイルス感染症の影響により臨時休館があったが、利用料金収入は令和元年度の水準まで回復した。 ・指定管理料には市の休館等指示で還付した令和3年度の利用料金等相当分として市が支払った3,110,703円を含む。
------------	---

ウ 市による状況分析

経費の縮減や利用料金の増加等に努めたことにより、収支差額はプラスとなった。

3 目標管理、総合評価

(1) 目標管理

ア 仕様書で定める目標の達成状況

■ 適正な管理運営の確保

指標	目標	実績
ホール活用事業	6回以上	6回
生涯学習施設活用事業	12回以上	171回

■ 利用者サービスの向上

指標	目標	実績
利用者数	180,000人以上	107,823人
施設稼働率	80%以上	69.4%
満足度	利用者の満足度: 90% 文化芸術振興事業に対する満足度: 90%	利用者の満足度: 95.1% 文化芸術振興事業に対する満足度: 96.1%

■ 収支

指標	目標	実績
利用料金収入	26,500,000円	16,733,642円

イ 市による状況分析

新型コロナウイルス感染症の影響により、一部事業の中止があったものの、生涯学習活用事業回数の目標水準を大きく上回ったことは大変評価できる。しかし、天井等改修工事によるホールの閉鎖、新型コロナウイルス感染症による臨時休館、利用控え等が影響し、利用者数・施設稼働率・利用料金収入は目標に届かなかった。

(2) 総合評価

目標の達成状況のほか、管理運営状況も含め、以下の評価基準により総合的に評価を行う。

	指定管理者	所管課
評価	B	B
評価の理由	新型コロナウイルス感染症の影響により中止した事業もあったが、ほぼ予定通り実施できた。また、利用者数や稼働率は平常時よりは低いものの、令和2年度の実績を上回った。さらに、収入については、貸館キャンセル等があったが、回復傾向にある。	新型コロナウイルス感染症の影響により、主催事業が延期・中止になりながらも、生涯学習施設活用事業回数については仕様書の目標を大幅に上回ったことは評価できる。
今後の取組	光熱水費や修繕費等のコストダウンを徹底する。また、SNSの活用や近隣へのチラシのポスティングなど、新規利用者の獲得等に向けた広報強化を図る。	新規利用者の確保や料理室などの稼働率の低い施設の利用向上に向けた広報活動や館主催事業による稼働率の向上を行うなど、多くの方が文化芸術に触れる機会をより多く享受できるよう図られたい。

評価基準	A	仕様書で求める目標や水準を上回る管理運営がなされ、優良であるもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の管理運営がなされ、適正であるもの
	C	管理運営が仕様書で求める目標や水準を下回っており、努力が必要であるもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要であるもの